

新年度が始まりました。皆さん、新しい環境には慣れてこられた頃でしょうか。私は、「春は出会いと別れの季節」のことば通り、魚の美味しい島から水がおいしい街へのお引越し！引っ越し当日、「泣かない」と心に決めていたものの見送りに来てくださった方々の顔を見るとウルウル……。手伝いに来てくれていた姪もなぜか号泣。フェリーでのお別れは悲しさ倍増でした。

新しい街に早く慣れるために、これからしばらくは運動を兼ねたお散歩で「街探検」を楽しみたいと思っています。

ずいぶん前になりますが 講演会がありました～

なんだかんだバタバタ&頭パンクで報告が大変大変遅れてしまいました。2月に定例会を兼ねた講演会があり、「知的・発達障がい児・者の恋愛と結婚 結婚推進室「ぶ～け」調査から」のテーマで明星大学教育学部の平井威先生にお話をいただきました。

今年は単独での開催のため、参加者が少ないかな・とちょっと心配していましたが、保護者の方をはじめ、行政、福祉、教育と様々な職種の方が46名参加して下さいました。(半数は保護者の方でした)

<講演より一部紹介>

子どもさんが「結婚したい」といってきたらどうしますか？

グループに分かれてそれぞれの意見を出し合いました。

- ・どうしたらいいのか……
- ・就職できたら、料理などなんでも自分でできるようになったら……等、次々に課題をだし、先延ばしにしてしまう
- ・人に興味はなく、SEXにのみ関心を示すことが怖い
- ・ソーシャルスキルやマナーの学習が必要になるのでは？
- ・学校で性教育をしているが想像が難しい。結婚や子育てをイメージしやすい学習が必要
- ・結婚がタブー視されているのはなぜ？そこから社会を変えていく必要があるのでは？
- ・障がいの有無にかかわらず、結婚について今の課題になっているのでは？

などの意見が出されました。

様々な意見が聞かれましたが、特に保護者の方からは「心配」や「戸惑い」という内容の意見が多かったように感じます。

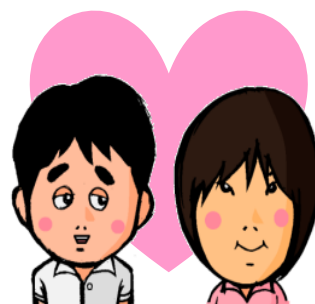
皆さんだったらどうされますか？

結婚推進室「ぶ～け」って？

「ぶ～け」では、「出会い・恋活(婚活)のサポート」、「夫婦・パートナー生活の応援」、「子育てサポート」、「自分磨き・スキルアップの開催」と4つの支援メニューがあり、それぞれに応じた支援を行っています。デートの相談、夫婦の相談など、支援内容はとてもきめ細やかです。

恋愛やパートナー生活の中から起こる様々な問題に対しても、「一人一人の幸せの形の実現」にむけて、職員の皆さんで取り組まれていることがお話を聞いてわかりました。

「恋は努力の源泉」、仕事もプライベートも意欲的になる方が多いそうです♪



「性をエンジョイすることは人間らしく生きること」(平井先生の師、大井先生の言葉だそうです)

特別支援学校に36年間勤務されていた平井先生。当時のことを交えながらのお話はいろいろ考えさせられることばかりでした。

人を好きになることはステキなこと♪好きな人との暮らしのための支援がどの地域でも受けられるようになるといいなということと、性教育の大切さを改めて感じる講演会でした。

<お知らせ>

次回の定例会は第3土曜日がいろいろな行事とブッキングしており、第4土曜日になりますが5月26(土) 13:30~15:00に変更させていただきます。

例年通り「おしゃべり会(情報交換会)」の予定ですが、代表(宮原)は今年度で長崎大学を定年退職しますので、今後のこの研究会の活動をどうするか皆さんと検討できればと思っています。